

◆ 今週のコメント

- ・ デング熱の報告が1例(男性, 10歳代)あります。推定感染地域は国外(ブラジル)です。これまでに京都市内で報告されているデング熱はすべて海外で感染し、帰国後に発症する輸入症例です。
- ・ 梅毒(早期顕症)の報告が1例(女性, 40歳代)あります。症状は梅毒性バラ疹で、推定感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は6例となっています。

◆ 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、4.50(180例)と減少し、過去5年間の同時期に比べ少ない状況です。しかし例年、第14週頃から報告が急増します。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 1例(肺結核なし, その他結核なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性なし
【1月以降の累積報告数 79例(肺結核 38例, その他結核 26例, 潜在性結核感染者 15例)うち喀痰塗抹陽性 19例】
- ・ 四類:デング熱 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ 五類:梅毒(早期顕症Ⅱ期) 1例【1月以降の累積報告数 6例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点67, 小児科定点40, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1.30	87
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.50	180
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.65	26
	③ 手足口病	0.60	24
	④ 突発性発しん	0.25	10
	⑤ 咽頭結膜熱	0.23	9
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

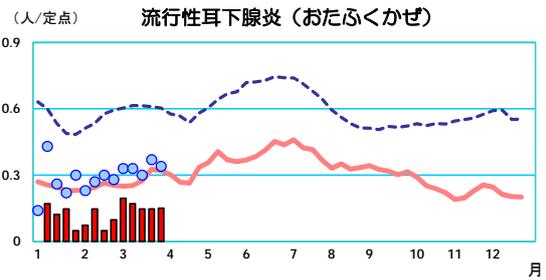
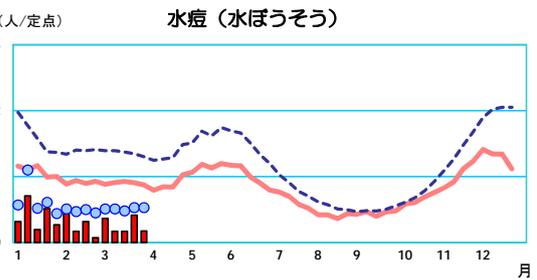
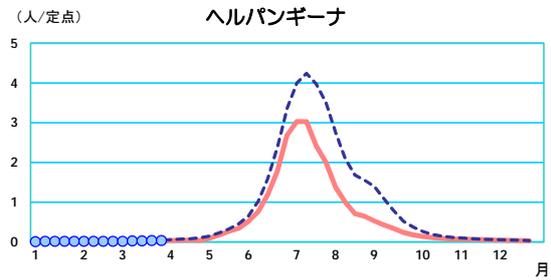
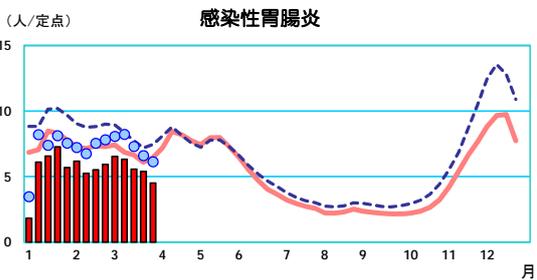
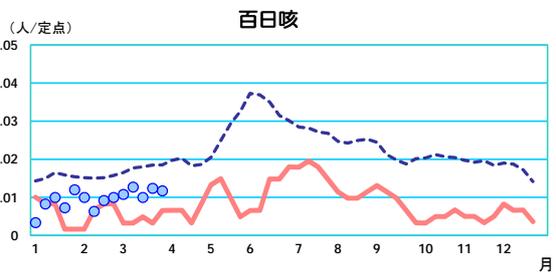
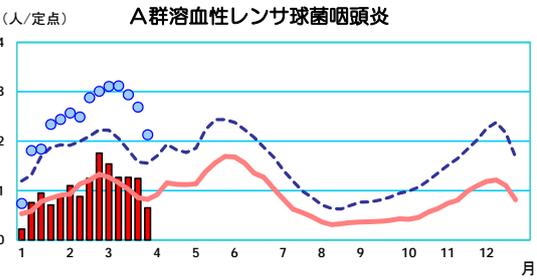
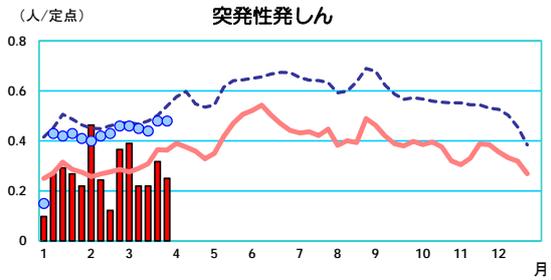
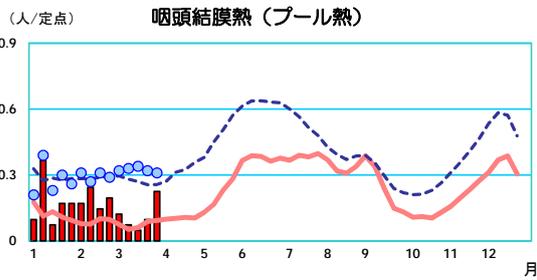
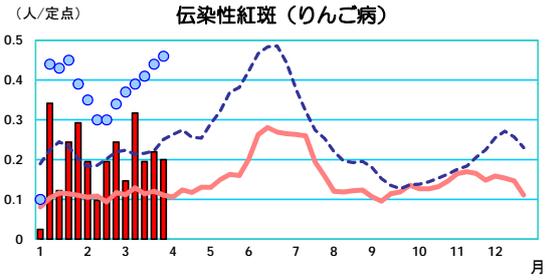
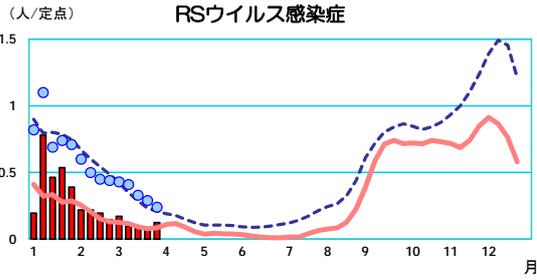
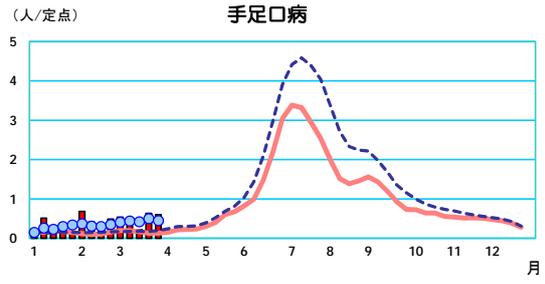
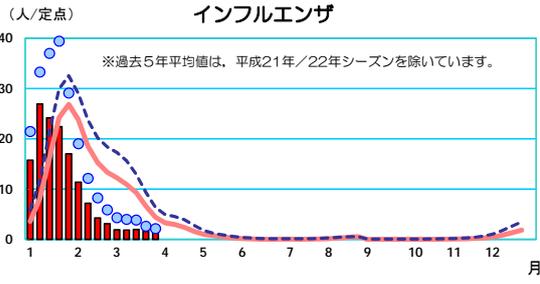
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成27年4月9日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



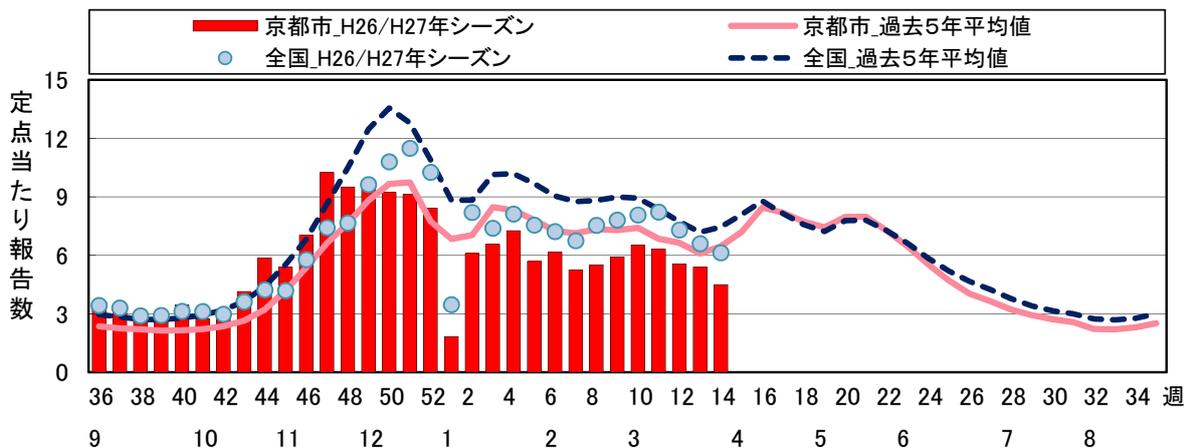
第14週(3月30日～4月5日)トピックス: <感染性胃腸炎>

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、4.50(180例)と減少し、過去5年間の同時期に比べ少ない状況です。しかし、例年の傾向をみると、第14週以降、感染性胃腸炎の報告が急激に増加していますので、今後の発生動向に注意が必要です。

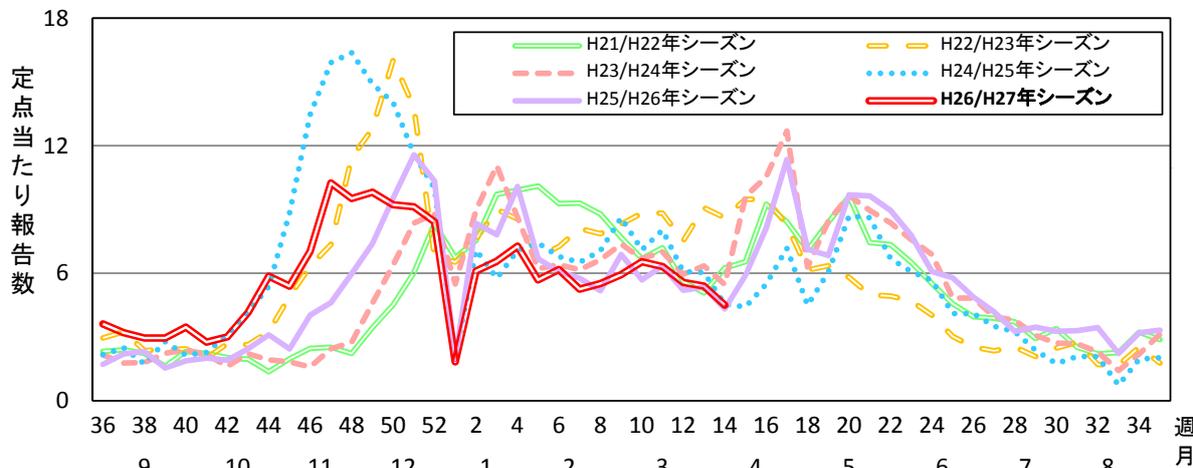
感染性胃腸炎は、年間を通して発生しており、11月から1月頃、そして3月から5月頃にかけて2回のピークがあります。例年の全国のウイルス検出状況をみると、冬季にノロウイルスを原因とする胃腸炎が多く、春先から5月にかけてはロタウイルスによる胃腸炎が多くなる傾向にあります。ロタウイルスは、乳幼児の嘔吐・下痢症の原因としても知られており、生後6箇月から2歳児に多く発生します。本市でも、1歳の報告が最も多く、次いで2歳および3歳となっており、5歳以下の報告が増加しています。

これからの季節はロタウイルスが、特に集団生活施設である保育園や幼稚園で、集団発生を引き起こす原因となります。感染対策にはノロウイルスに準じた対応が必要となりますので、突然の患者発生にすぐに対応できるように、消毒薬(次亜塩素酸ナトリウム溶液)の準備状況やマスクや手袋を含む嘔吐物処理セットの使用手順などを再確認しておきましょう。

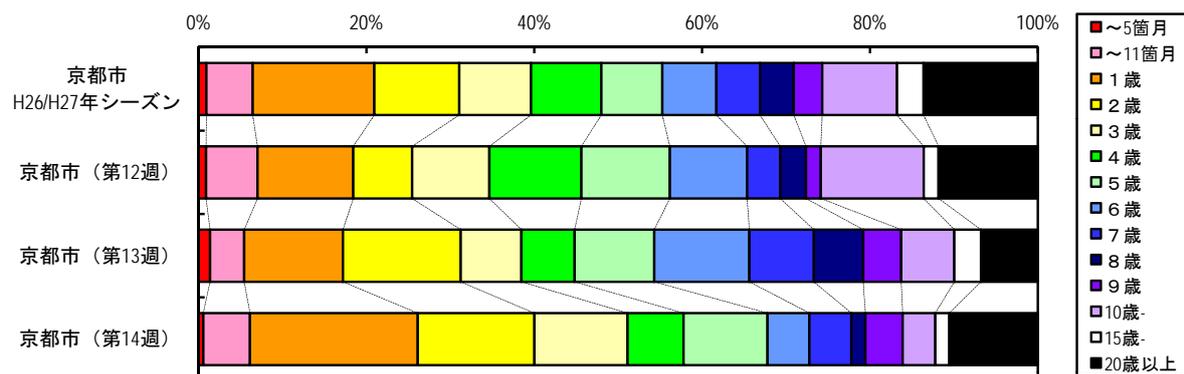
京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



京都市の過去5年間の流行状況



年齢階級別定点当たり報告割合



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第14週

疾病,行政区別報告数

平成27年3月30日～平成27年4月5日

データ入手日:平成27年4月9日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	6	-	-	5	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
上京	6	-	-	-	7	2	-	1	-	-	-	-	-	-						
左京	7	-	-	3	18	1	3	-	1	-	-	1	-	-						
中京	10	2	-	-	15	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	5	1	-	1	21	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
山科	7	-	-	5	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-						
下京	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	14	-	1	-	15	-	5	-	-	-	-	-	-	-						
右京	2	-	5	4	39	-	2	2	3	-	-	3	-	5						
伏見	15	1	3	3	38	2	9	1	2	-	-	1	-	-						
西京	11	-	-	4	21	1	4	2	1	-	-	1	-	-						
京都市計	87	5	9	26	180	7	24	8	10	-	-	6	-	5	-	-	-	-	-	-

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.86	-	-	1.25	0.75	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-						
上京	1.20	-	-	-	2.33	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-						
左京	1.00	-	-	0.75	4.50	0.25	0.75	-	0.25	-	-	0.25	-	-						
中京	2.00	0.67	-	-	5.00	-	-	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.67	0.50	-	0.50	10.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-						
山科	1.00	-	-	1.25	0.75	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-						
下京	1.33	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	2.80	-	0.33	-	5.00	-	1.67	-	-	-	-	-	-	-						
右京	0.25	-	1.00	0.80	7.80	-	0.40	0.40	0.60	-	-	0.60	-	5.00						
伏見	1.50	0.17	0.50	0.50	6.33	0.33	1.50	0.17	0.33	-	-	0.17	-	-						
西京	1.57	-	-	1.00	5.25	0.25	1.00	0.50	0.25	-	-	0.25	-	-						
京都市計	1.30	0.13	0.23	0.65	4.50	0.18	0.60	0.20	0.25	-	-	0.15	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第14週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年3月30日～平成27年4月5日

データ入手日:平成27年4月9日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	87	-	1	3	3	6	3	4	5	8	3	3	5	3	8	7	12	8	2	2	1
RSウイルス感染症		5	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		9	-	-	1	-	1	4	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		26	-	1	1	2	-	3	3	2	2	1	4	5	1	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		180	1	10	36	25	20	12	18	9	9	3	8	7	3	19	-	-	-	-	-	-
水痘		7	-	1	1	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	24	-	-	11	6	2	2	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		8	-	1	-	-	-	2	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		10	-	4	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		6	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1.30	-	0.01	0.04	0.04	0.09	0.04	0.06	0.07	0.12	0.04	0.04	0.07	0.04	0.12	0.10	0.18	0.12	0.03	0.03	0.01
RSウイルス感染症		0.13	0.08	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.23	-	-	0.03	-	0.03	0.10	0.03	0.03	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.65	-	0.03	0.03	0.05	-	0.08	0.08	0.05	0.05	0.03	0.10	0.13	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.50	0.03	0.25	0.90	0.63	0.50	0.30	0.45	0.23	0.23	0.08	0.20	0.18	0.08	0.48	-	-	-	-	-	-
水痘		0.18	-	0.03	0.03	-	0.03	-	0.08	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.60	-	-	0.28	0.15	0.05	0.05	0.05	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.20	-	0.03	-	-	-	0.05	0.05	0.03	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.25	-	0.10	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.15	-	-	-	-	-	0.03	-	-	0.03	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	0.10	-	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第14週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年4月9日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	212	129	126	135	108	87
RSウイルス感染症	6	7	4	4	3	5
咽頭結膜熱	8	5	3	2	4	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	63	52	52	51	26
感染性胃腸炎	243	268	259	228	221	180
水痘	3	15	7	7	17	7
手足口病	20	22	21	9	26	24
伝染性紅斑	10	6	13	8	9	8
突発性発しん	15	16	9	9	13	10
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	1	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	8	7	6	6	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	3	1	1	5
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	594	539	505	461	459	367

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	3.12	1.90	1.85	1.99	1.59	1.30
RSウイルス感染症	0.15	0.17	0.10	0.10	0.07	0.13
咽頭結膜熱	0.20	0.12	0.07	0.05	0.10	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.76	1.54	1.27	1.27	1.24	0.65
感染性胃腸炎	5.93	6.54	6.32	5.56	5.39	4.50
水痘	0.07	0.37	0.17	0.17	0.41	0.18
手足口病	0.49	0.54	0.51	0.22	0.63	0.60
伝染性紅斑	0.24	0.15	0.32	0.20	0.22	0.20
突発性発しん	0.37	0.39	0.22	0.22	0.32	0.25
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	0.02	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.10	0.20	0.17	0.15	0.15	0.15
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	0.30	0.10	0.10	0.50
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	12.51	11.90	11.32	10.01	10.22	8.67

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。